

地域におけるスポーツ活動の活性化について

資料 3

スポーツ振興課

<地域におけるスポーツ活動の実施主体と考えられる団体>

団体	設置状況	現状	課題
総合型クラブ	67クラブ（R4.3.31現在） 会員の半数が60歳以上 法人格を有するクラブが少ない。	県内25市町村に設置。 多様な競技活動（レクリエーション含む）。	指導者不足 事務局体制が脆弱
スポーツ少年団	団 数：730団体 団 員：13,509人 指導者：5,065人	多様な競技活動 有資格指導者がいる。 小学生から高校生まで所属している。	団数、団員、指導者の減少 地域によって活動状況が違 う
プロスポーツ チーム 等	バスケットボール サッカー ラグビー ほか	スポーツ環境が整っている。 専門性の高い指導者がいる。	競技・地域が限定される。
民間事業者	フィットネスクラブ スイミングスクール	スポーツ環境が整っている。 専門性の高い指導者がいる。	月額会費等の負担
クラブチーム 道場 等	各種競技	専門性の高い指導者がいる。	地域によって偏在がある。
競技団体 等	国体競技を始めとして多数の競 技がある。	専門性の高い指導者がいる。 ジュニア世代の育成。 地域での定期的な活動。	規模や事務局体制が多様。
大学 ほか	秋田大学、県立大学、国際教養 大学、ノースアジア大学、秋田 公立美術大学 ほか	大学のクラブ活動	現状把握ができていない。

<今後の方向性>

各団体とも受け皿としての可能性があるが、地域移行に関する情報が不足しており十分な議論ができていない。今後、現状把握と課題を整理し、他県の状況や国の動向を踏まえ、地域における子どもたちの運動機会の確保に向けて検討をしていく。（検討事項例）指導者の育成、事務局体制強化、活動場所の確保、費用負担 等